

法学検定試験スタンダード〈中級〉コースの学習成果について

■目的・到達目標

1. 現在、資格取得を目指している試験について

法学検定試験スタンダード〈中級〉コース

2. 当該資格取得を目指している理由

- ①就職先として現在志望している公務員には、憲法をはじめとして法律や条例などの法に基づいてその職務を公正かつ適正に遂行する義務があることから、本資格を取得することによって、そのような職業に就くにあたっての心構えを高めたいと思ったから。
- ②当該資格取得を機に、更なる法学知識の習得に向けた各種検定（自治体法務検定など）の受験を積極的に行い、公務員試験合格と実務能力の基礎固めを目指していきたいと思ったから。

3. 現在の到達目標

昨年度受験した法学検定試験ベーシック〈基礎〉コースに続き、Excellent 合格すること。  
（最高目標は正答率9割以上合格）

4. 学習内容

法学一般、憲法、民法、刑法、行政法

5. 学習時に活用した参考書・問題集・六法など(リスト)

- 窪田充見・森田宏樹編『民法判例百選Ⅰ・Ⅱ[第9版]』
- 公務員試験対策講座テキスト(憲法・民法・行政法)
- 公務員試験対策講座問題集(憲法・民法・行政法)
- 2025年法学検定試験問題集スタンダード〈中級〉コース
- デイリー六法(2025年版)

6. 勉強方法で特に工夫した点

5月頃から分からない箇所については、公務員講座講師に積極的に質問したり、法律に詳しい友人に聞いたりした。過去問題集については、一日10問を目安に毎日説き続け、全て3周ほど問題を回した。9月頃には公式問題集を書店で自費購入し、毎日最低20問は解くように心がけて、受験予定科目（法学一般・憲法・民法・刑法・行政法）の問題を全て3周ほど回した。また、理解が難解な判例については、判例百選等を活用して事案の概要や経過

に触れ、少しでも理解することができるようにした。試験日から逆算して対策を行ったことから、試験に対するモチベーションを維持しつつ、苦手分野の洗い出しと克服を容易にすることができた。

## ■成果・振り返り

### 7. どこまで目標を達成できたか

受験の結果、＜合格＞した。自分の得点は62点で、excellent合格として認定された。昨年度の法学検定試験ベーシック〈基礎〉コースの受験によって問題傾向を正しく掴むことができていたことから、点数に余裕を持ってexcellent合格することができた。法律や判例はただ暗記するのではなく、その法律が何故存在しているのか、当該法律がどのような場面において問題になったのか、その結果、どのような判断がなされたのかといったことを関連付けて一つ一つ丁寧に考えることが重要であると再認識し、達成感を実感した。

### 8. 学習の成果が現れたと思う点について

法学検定試験の学習を通じて、法令を根拠に物事を考える法的思考力を身につけることができた。公務員には、住民対応や行政指導等を行う際において、ただ感情や慣例といったものに流されるのではなく、常に法令や条例に基づいた公平で適切な判断を行うことが重要である。そのため、今後は、法学検定で培った知識と考え方を活かし、住民にとって分かりやすく、誰からも信頼される行政運営に貢献していきたい。

### 9. 残された課題について

Excellent合格することはできたが、民法分野での6問ミスにより、自身の最高目標としていた9割以上合格には及ばなかったことから、今後は民法の苦手分野の対策を中心とした学習を行っていきたい。

## ■ゼミの学習・卒業研究等への広がり

### 10. 資格試験対策のために積み上げてきた勉強が、日々のゼミをはじめとする授業での学びや、卒業研究においてどのようなかたちで活かしていると思うか？

法学検定試験に向けて積み上げてきた勉強は、日々の授業や行政法ゼミ、卒業研究において基礎力として活用できていると感じている。法学検定の学習を通して、行政法だけでなく、憲法・民法・刑法などの基本的な知識や法的思考の基礎を体系的に身につけることができたため、授業で扱う内容も法体系の中で理解しやすくなった。また、行政法ゼミでの判例の検討や議論においても、条文や判例を根拠にして考える姿勢が身についたことで、判例研究の際には、問題となっている法的論点についてより深く考察することができるようになった。さらに、卒業論文の執筆においても、論点を整理しながら自分の考えをまとめる力として、

令和5年度入学  
法文学部人文社会学科昼間主コース  
法学・政策学履修コース 3回生  
主指導教員：加藤祐子  
黒光拓斗

これまでの学習経験が役立っていると感じている。

### 1.1. 今後の目標について

引き続き「資格検定」の履修登録を行いたいと考えている。特に現在は、日常生活や基礎的なお金の知識（税金、保険、年金、相続など）を身に付けるために有効であるとされている〈3級FP技能検定〉や、地方自治体の職員が業務に必要な法律の基礎知識や、政策立案・条例制定に必要な「法務能力」を向上させるために有効であるとされている〈自治体法務検定〉、そして、企業の経営管理に役立つ〈日商簿記2級〉を受験したいと考えている。複数の試験を受験することによって、専門知識を体系的に習得するとともに、客観的な能力証明によるキャリアアップや、目標達成に向けた努力過程での自己成長に繋げていきたい。

#### 【添付資料1 合格証書】



#### 【添付資料2 学習時に活用した問題集】

